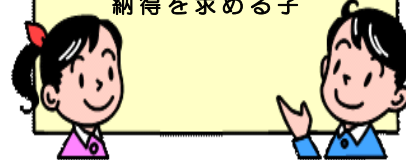


真龍小便り



真龍小学校の子ども

つながりを求める子
かかわりを求める子
納得を求める子



平成29年11月30日発行 No.10

渡り鳥は群れで

校長 武田 昌彦

12月のこよみ

日	曜	行事
1	金	厚岸町一斉学力テスト
2	土	
3	日	
4	月	朝会(保健委員会) かぜ調べ(～3/23)
5	火	運動の日
6	水	
7	木	第4回PTA役員会
8	金	特別日課 クラブ⑦ 町P連会場準備 真小PTA研修部事業研修会
9	土	町P連研究大会(真小会場) 厚岸町・浜中町合同教育支援委員会
10	日	
11	月	特別日課 4時間授業 2雪5時間授業
12	火	情報館読み聞かせ
13	水	
14	木	大掃除週間(～12/21)
15	金	特別日課 委員会⑩
16	土	
17	日	
18	月	特別日課 クラブ⑧(最終)
19	火	
20	水	街頭指導
21	木	
22	金	後期第一ステージ終了 朝会(講話)
23	土	天皇誕生日 冬季休業開始
24	日	
25	月	ステップアップ教室1日目
26	火	ステップアップ教室2日目
27	水	
28	木	
29	金	年末休業
30	土	年末休業
31	日	年末休業

車を運転していると畑にタンチョウの姿を見かけるようになってきました。収穫後のデントコーンなどが落ちているのか、日を増す毎に多くなっているように感じます。同じように渡り鳥の群れも見かけるようになってきました。渡り鳥は綺麗なV字の形で飛んでいます。群れとしての飛び方やルールではなく、そこには長い旅をするための必然的な理由があります。鳥は翼を上下に動かして飛びます。この上下の動きにより風の流れが生じ、翼の後ろを飛ぶ鳥は抵抗が少なく長い間飛ぶことができます。そのため、真後ろではなく翼の後ろ、翼の後ろ。と並んでいくと綺麗なV字の形で飛ぶ事になります。むろん先頭は何の恩恵もなく、風の抵抗も受けます。ですから先頭は強い鳥がその責任を担います。群れのリーダーが常に先頭ではなく、リーダー格が時々変わり先頭を引っ張るのです。その年に生まれた若い鳥には先頭は任せません。強い鳥たちが群れをリードして旅を続けるのです。

ある日、何気なく渡り鳥の群れを見ていました。いつものV字です。と、突然一羽の鳥が群れとは別の方向に飛びました。風の流れのいたずらか、気流の変化で群れから離されたんでしょう。自力で群れに戻ろうとしますがどんどん離れていきます。若い鳥なんでしょう。他の鳥の後ろでないとその群れのスピードについていけないんですね。すると別の一羽が群れから離れその若い鳥へ向かっていきます。若い鳥の前に出て後ろについてこいと言わんばかりに引っ張っていきます。はぐれた鳥はその鳥の後ろをついていきます。まもなく群れに戻り事なきを得ました。

学校という集団では先頭は常に6年生が引っ張ります。一人ではなくみんなで。もし、ついて来られなくなっても優しく上級生が引っ張ってくれます。低学年は6年生のその姿を見ながら「いつか自分も一人前に」「やがて優しく引っ張っていただける上級生に」と思って生活し、育っていきます。

6年生は間もなく自分の役を終え、別の世界(中学校)へ行く準備をします。5年生はいよいよ先頭に立ちます。その心構えと力を後数ヶ月で身につけるのです。この循環が良き伝統となります。長い歴史を持つ真龍小学校。この、良き伝統を今年も受け継げそうです。4年生、3年生、2年生、1年生。それぞれ自分の役割を見極め、やり残しはなく。一歩前進するはずです。いいえ、しなければなりません。

人は、急に変わることはありません。残り時間は決して多くないのです。今から意識して生活してほしいと思います。保護者の皆さん。今までの成長から、さらにここ数ヶ月でまた一回り成長します。期待して見守っていただき、次の学年への後押しをお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

防災・防犯の意識を高めるために

10月、火災による避難訓練を実施しました。子どもたちには事前に予告せず、休み時間に行ったにもかかわらず、放送をしっかりと聞き、迅速に避難できていたため、消防の方からもお誉めの言葉をいただきました。防災に対する意識が育ってきている証拠だと思います。



11月には、防犯教室が行われました。低学年は、「不審者からの身の守り方」について、高学年は、「インターネットの適切な利用」と「薬物の危険性」について、厚岸警察署の方からの実例を交えたお話を聞きながら、真剣に学ぶことができました。

小中学生が犯罪に巻き込まれる時間帯は、下校時刻とだいたい重なるそうです。ですから、普段から「いかのおすし」の合言葉を意識することが大切になります。また、防犯ブザーもいざというときに適切に使えるようにしておくことも重要です。



最近、下校時刻の問い合わせの電話がたびたびあります。電話の相手が不審者だという可能性はゼロではありませんので、防犯の面から考えると教えたくありませんが、間違いなく保護者と確認できた場合のみ教えています。学年通信等に下校時刻は載せていますので、学校への問い合わせについては、極力ご遠慮ください。

全国学力・学習状況調査の結果から～国語 話す聞く編～

- 1 話し合っ一つにまとまったことを報告している。
- 2 一番多く出されたことを報告している。
- 3 学級全体で取り上げてほしいことを報告している。
- 4 同じ意見でも理由がちがうことを報告している。

正解は 3

（問い） 野村さんは、どのようなことを報告していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

石川 学級文集のタイトルについて、学級目標と同じように、明るくかやくイメージの言葉にするところまで決まっています。それをふまえて、ここまで話し合ったことを中島さんのグループからは順番に報告してください。

中島 私のグループでは、まわりを照らすというイメージから、「太陽」がよいという意見にまとまりました。

西山 ぼくのグループでも、「太陽」がよいということになりました。理由は、太陽は明るいし、まわりをあたためることもできるからです。

野村 私のグループも、明るいというイメージの「太陽」がよいという意見がありました。しかし、学級の一人一人がかやくというイメージで「銀河」がよいという意見もありました。どちらもよい意見で、一つにまとまりませんでした。「太陽」だけでなく、「銀河」についても、ぜひみんなに考えてほしいです。

（報告が続く）

【報告場面の一部】

左の問題は、「互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うことができるかどうか。」を見るために出題されました。この問題の本校の正答率は、全国平均を超えました。

このような学力は、考えが相違するときには、それぞれの考えがどのようなことに基づいているかということに着目できるような授業を、日常的に行っていくなくて身についていきません。

また、学級会など、集団としての意見をまとめる話し合い活動を行うなど、子ども達の日常に生きて働くように多くの場を設定することが重要になります。

12月9日（土）は町P連研究大会です！

参加申込をされていない方も、当日参加可能ですので、以下の日時、場所、内容等を確認されて、たくさんの方にお越しいただけることを願っております。

日時 平成29年12月9日（土） 9：30 受付開始
10：00 開会式
12：00頃 終了

場所 真龍小学校 体育館 （児童玄関からお入り下さい）
＊駐車場は、グラウンドになります。

- 内容
- ・PTA活動に功績のあった方々に対する表彰式
 - ・置戸町 食のアドバイザー 佐々木十美氏による講演
 - ＊試食、試飲などを交えて実感を伴う講演内容です。
 - ＊著書や特製カレースパイスなど若干ですが物販コーナーもあります。



＊受付時間には、真小器楽少年団が素敵な演奏で参加者をお出迎えしてくれます♪

読書の意欲向上を！ ブックトークの開催

3～6年生を対象に、情報館の方によるブックトークが行われました。

3年生では、「心に残る一冊」というテーマに沿って、メッセージ性のある本や個性の強い本など、子ども達の印象に残る本を紹介していただきました。子ども達の本への興味・関心が大変高まりました。

